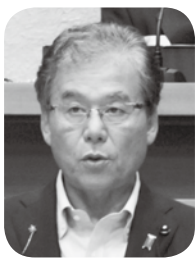


代表質問

9月定例会では、野坂道明議員

(鳥取県議会自由民主党)、興治英夫議員(鳥取県議会民主党)が、県行財政上の諸問題について、会派を代表して質問を行いました。

鳥取県議会自由民主党



野坂 道明 議員
選挙区 米子市

国会問題について

問 国会議員が地方の声を国政に届ける役割を担っているのは言うまでも無く、二院制の本旨からしても、1県に1議員を確保すべきであり、憲法改正を視野に国に対して強く働きかけるべきだと思いが、知事の所見を伺う。

答 民主主義のユニットとして都道府県が機能していることを考えれば、それに基づく選挙制度があつてしかるべきであり、憲法論も含めて知事会などの議論を喚起

してまいりたい。

骨太方針と地方創生

問 アベノミクスの効果を地方まで行きわたらせるためにも、地方の財政需要を地方財政計画に的確に反映し、地方一般財源の総額を確保する事が、地方創生の実現に向けて国の責務だと思いが、知事の所見を伺う。

答 地方創生を進めるのであれば、新型交付金は額も限られており、一般財源総額の方が大切である。新型交付金も上手に活用しながら、行財政改革努力もあわせてやるべき事には挑戦をしていく姿勢が大事だと思う。

TPPの影響と対応

問 TPPは本県の農業にとって大変なピンチだが、高付加価値化によりチャンスに変えることも可能である。農業活力増進プランを羅針盤に、どの様に対応するのか、知事の所見を伺う。

答 影響はある程度受けると思

うが、大切な事はいかに競争力を高めるかであり、農業活力増進プランを前に進める必要があり、低コストハウスの導入等、戦略的な活力増進プランの推進を図ってまいりたい。

市町村への支援

問 地方創生に係る市町村の新型交付金申請が、不採択だった取り組みの内、県の人口ビジョンの実現に寄与するものについては、県単独でも支援するのか、知事の所見を伺う。

答 県も後見役として市町村の地方創生が円滑に進むように、県の役割も果たすところは果たして参りたい。

政府機関の地方移転

問 ハローワークの都道府県移管の検討が始まるようだが、こうした動きを加速させる必要があると思ふ。知事の所見を伺う。

答 石破大臣の賛同も得られており、この秋が勝負どころだと思ふので、しっかりと主張したい。

米子駅南北一体化事業

問 新駅ビルの整備について、1・2階をJR、3・4階を米子市と

県で受け持つと仄聞しているが、どのような機関の入居を想定しているのか。

答 JR米子支社は現行の物販と飲食、米子市は市民が集えるような機能、鳥取県は消費生活センター等を検討している。

鳥取県議会民主党



興治 英夫 議員
選挙区 倉吉市

地方創生、国は本気が

問 地方創生に関して、国の来年度新型交付金の要求額が1080億円で、今年度の1700億円にも及ばず全く不十分だ。政府機関の地方移転も極めて消極的で、国の本気度を疑う。かつての「闘う知事会」のような活動をすべき。

答 全国知事会と石破大臣が少々バトルモードだ。知事会側は1080億円では足りず拡大すべきだと。頑張り始めた市町村の灯を消さぬように、財源確保へ知事会として闘う姿勢でやっていく。本県は統計センターなどの移転を求め

ているが、国の対応は冷淡だった。石破大臣にも申し上げていく。

問 県の総合戦略は、人口が減る中山間地での達成目標が少ない。

答 中山間地の振興についてはKPI（※）等をもう一度精査して加えるべきは加える方向で検討する。

TPPと農林業振興

問 TPPは畜産、酪農への影響が大きい。十分な対策が必要だ。

答 乳用牛への和牛の受精卵移植や経営転換などの支援を考える。酪農は500頭規模の農場を作る畜産クラスターの支援を進めたい。

問 和牛、きぬむすめ、しいたけなどの食材のブランド化とともに食材を使った料理の開発・普及を。

答 来年度予算の中で、鳥取の名物料理を応援するようなプロジェクトを考えてみたい。

問 中山間地域の基盤整備事業について、農地の集積率に応じて農家負担を最大ゼロにできる制度を周知するべきだ。集落での農業の将来像を描く人・農地プラン作成に、県の関与を強めるべきだ。

答 各方面に周知し取り組みを強化する。人・農地プランを作ったのは221集落で、全集落の14%だ。100の重点集落を設定し、

市町村、農協等と推進する。

地域医療と健康づくり

問 県民のがん死亡率は全国ワースト3位。平均寿命、健康寿命、喫煙、飲酒、野菜摂取量、一日の歩数など健康指標も総じて悪い。

答 健康寿命全国1位などの目標を掲げ、全市町村で地域医療保健活動、健康づくり活動を強めるべき。

問 特に男性で肝臓がん、胃がん、肺がんの死亡率が高い。がん検診受診率向上対策にさらに取り組む。身近な野菜をたくさん食べるなどの生活習慣の改善、健康づくりが大事だ。市町村や大学、医師会など関係者の力を結集して、集落や地域に入り込んで県民一丸となるような行動計画を、新年度に向けて作って実践していきたい。

問 地域医療構想策定に関して、国は1500床の病床削減目標を示したが、県の将来予測では医療需要は伸び、現状より多く必要。一方、在宅医療の体制整備も必要だ。

答 国には現場をよく見てくれと言っている。地域にふさわしい医療構想となるよう取り組む。在宅医療については、訪問看護ステーションが足りない。体制整備へ医療関係者等と話し合ってみてみたい。

一般質問

9月定例会では、28人の議員が質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

花御所柿のブランド化

福田 俊史 議員



選挙区 八頭郡 会派 自由民主党

問 県では地方創生に向けての県版総合戦略の中で食のみやこ鳥取のブランド発信を大きく掲げているが、これを機に鳥取県の隠れた逸品であり日本一の甘柿である花御所柿のブランド化を進めてみてはどうかと思うが知事の所見は？

答 花御所柿は糖度が非常に高く果肉も緻密、見栄えも大きさも他の柿にない特徴がある。御所柿の一種として売り込むより新品種として売り込んだ方が新規性があるのではないかと。花御所柿もブランド化に結びつけたいと思う。

外来生物対策更なる促進を

前田 八壽彦 議員



選挙区 鳥取市 会派 自由民主党

問 生態系や人間活動の影響が大きい日本の侵略的外来種100種のうち特定外来種が10種、それ以外の外来生物が36種、県内で確認されている。その対策は。

答 外来生物対策は前田議員の質問もあり意識改革や施策を推進してきた。今年と来年で生物多様性基本法に基づく地域戦略を策定する。生物多様性を保全する為の緩やかな戦略と外来生物に対する厳しい規制も盛り込みながら戦略をまとめる方向である。この2つの柱で戦略づくりに舵を切りたい。

会派正式名称

- 自由民主党：鳥取県議会自由民主党
- 民主党：鳥取県議会民主党
- 希望：鳥取県議会希望
- 公明党：公明党鳥取県議会議員団
- 共産党：日本共産党鳥取県議会議員団

※KPI・・・「重要目標達成指標」組織が一定の目標を達成するため、目標に向かってのプロセスが順調に進んでいるかどうかを点検する最も重要な指標